

# A SHELLFISH

♥ 成人向 ♥



ASCOTT × UMI SPECIAL

豪徳寺コンツェルン

# A SHELLFISH





# A SHELLFISH

みなさま、こんにちは♡ レアス本第2弾『A SHELLFISH』へ ようこそ♡  
 再び『フハッ』な世界にご招待いたしますのは 私、バコンたまごとマリリンあなかの2人でございます。  
 今回はページの都合で前回好評だった『すあね対談』の形式が取れませんので、私が代表としてごあいさつさせて  
 頂きますわ♡ (なあ、この本の『フハッ』なマンガ&イラストは、たまごとマリリンの合作でございます♡)

さて、今回は 予定を変更して アスコット×海の本としてまとめる事になりました。やはりマイナーかもしれませんが、  
 でも、『レアス第2章』が一番、大爆笑できるのは アスコット以外、他ありません。  
 他のキャラが剣でカッコよく戦ってる中、『反獣拓換』とひとりどりけんしている姿はもろろんですが、やはり、『海のために』大き  
 くなってしまった彼の体は、オコシのシンボルそのもので、本人も恥ずかしいでしょうが見てるこちらが 絶対ものすあね。  
 えらくどかいマツタケになたものです。私達は『放送禁止小僧』、そう呼ぶことにしていますわ。

セフィロでは 性欲が開放されると いきなり体が成長してしまうのですわ... イキドク様は公認とシツクシキアスコットは...  
フハッ少年の毎日は禁欲  
して99...?!!

みなさん、今回は アスコット×海の海(愛)本です♡『放送禁止小僧』の活躍を お楽しみ下さい♡  
 BY. たまごと&マリリン





# MARINE COLOR

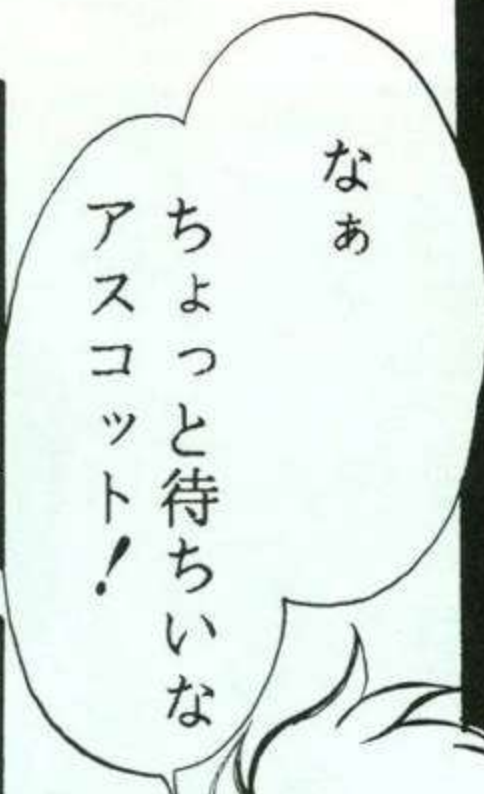


ここで一発  
度胸  
見せたらん  
かいな!

ヤヤヤ

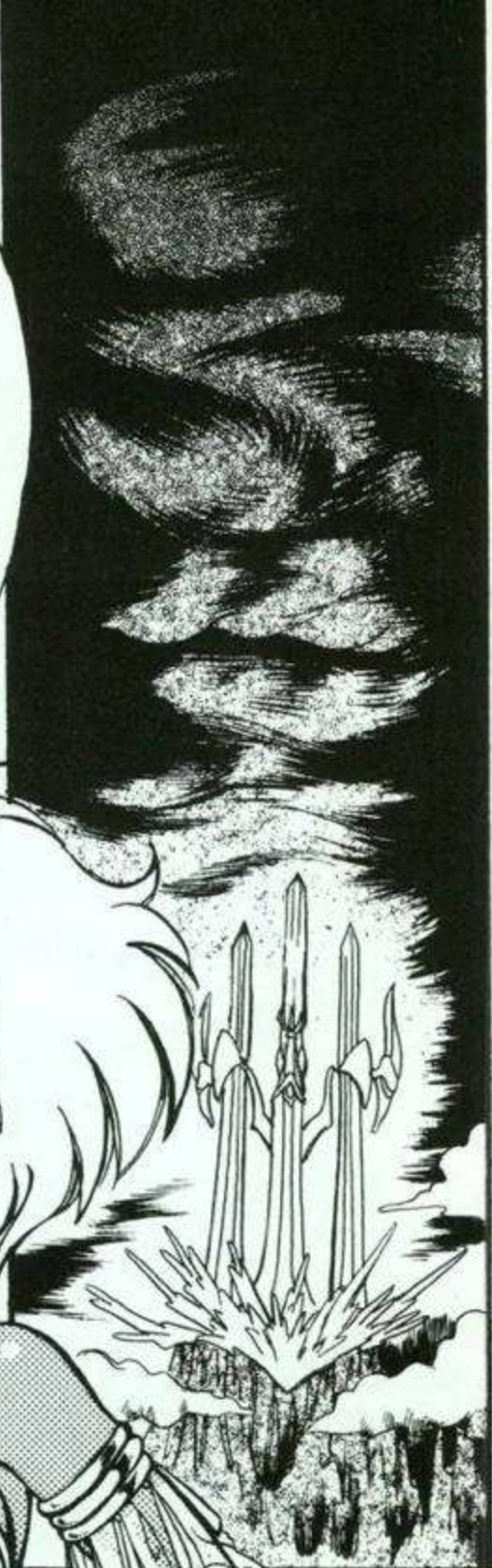


体ばっかり  
大きゅうなって、  
そない肝っ玉の  
小さいことで  
どないするんや!



なあ

ちよつと待ちいな  
アスコット!

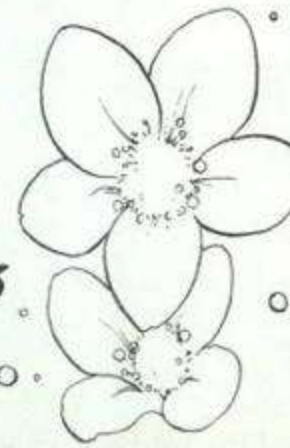


肝っ玉だけと  
違ごうて、  
金玉も  
ちっこいんと  
違うかー?

僕のこととは  
放つといてよ  
カルディナ!



アスコット





女の子の気持ちは  
「水」みたいなもんや。  
熱や色に染まりやすい。



凶星やったんか……  
金玉小さいの……  
ま、気にせん……  
ん、ん……  
肝心なのは……  
玉の大きさ……  
ちがうよ  
もうっ!



今の内に  
アスコットの気持ち  
伝えとかんと  
他の男の色に  
染まってしまうで。



せやけど  
アスコット……  
早い目に告白して  
しまわんと  
後悔するで。



いいんだ  
カルディナ。  
僕は……



僕は  
海が好きだ  
……

だけど

海を  
「僕だけのもの」に  
しようなんて

思っっては  
いない……

だから  
この事は  
誰にも言わないで  
ほしいんだ……。

ねっ  
カルディナ!

はーっ

そら甘い!  
甘いでアスコット!  
自分の気持ちに  
ウソつき通せる  
もんかいな!

ちよっと  
こっち  
来てみ!

あっ

ここは……

その部屋  
のぞいてみ、  
アスコット。

?

ユウコ



海……！



女の人と恋に  
堕ちたことくらい、  
ある……でしょ？



ねえ  
クレフ……。

なんだ。



クレフって  
745歳だった  
わよね。

そんなに永く  
生きてたら  
……





さあ…  
どうだった  
かな……。



ぷっ… くすくす  
さあどうだった  
かな…なんて  
ホントに  
おじいちゃん  
みたーいっつ



海…  
お前は  
どうだ…



この  
セフィーロで  
好きな男でも  
出来たか  
………?



さあ…  
どうかしら？



眠りに  
就け……。

だってクレフも  
とぼけて  
教えてくれ  
ないんです  
もの

私だって  
教えられ  
ないわっっ！

それも  
そうだな。

さあ……

さあ  
海……

今日はもう  
遅い……。

ひょっとして  
迷惑？

毎晩  
こうやって  
お話ししに  
来るのって……

ねえ  
クレフ……

なんだ。



な、  
ええムードやった  
やろ？

あの二人、  
毎晩ああやって  
逢い引きしとんねんで。  
もたもたしとったら  
くつついてしまおうで  
アスコット！

海がクレフを  
好きなら……

仕方ないよ……

それは  
あんたの  
本心か？  
違うやろ、

クレフに  
海を取られて  
悔しいって顔  
しとるわ！

たてまえばっかり  
覚えよって  
いやらしいなあ！  
何の為にそない体を  
大きくしたんや！

海を組み伏せて  
自分の欲望満たす  
為やろ？  
今さら聖人君子ぶっても  
遅いわ！

今やったら  
まだ間に合う！  
告白しい！  
気持ちぶついたり！  
それであかん  
かつたら  
腕づくで  
抱いたりいや！

そんなの……  
海が迷惑  
するよ！

やめて

やめてよ

カルディナ！



そんな子は  
キライだって  
きつと海は  
言うよ……………。

だめだ…よ  
そんな  
わがままを  
言う子は  
悪い子だって……………

ガ  
ガ  
ガ  
ガ  
ガ  
ガ



さあ  
言うてみ。  
「海を自分だけの  
ものにしたいたい」  
……………って。



口では  
キレイ事言うても  
頭の中は  
スケベエな事で  
いっぱいや…

そうやろ  
アスコット!



は…  
やっぱりな  
……………。  
アスコット、  
あんたは

海に  
嫌われるのが  
怖いんや…!



アスコット!  
恋愛は  
くつつくか嫌われるか  
どっちかや!



海の気持ち  
考えるフリして  
結局自分の気持ち  
が一番かわいいねん。  
今告白して嫌われたら  
もう明日から  
オナニーでけへんもん  
なあ!

やめてって  
言ってるのに!  
カルディナ!



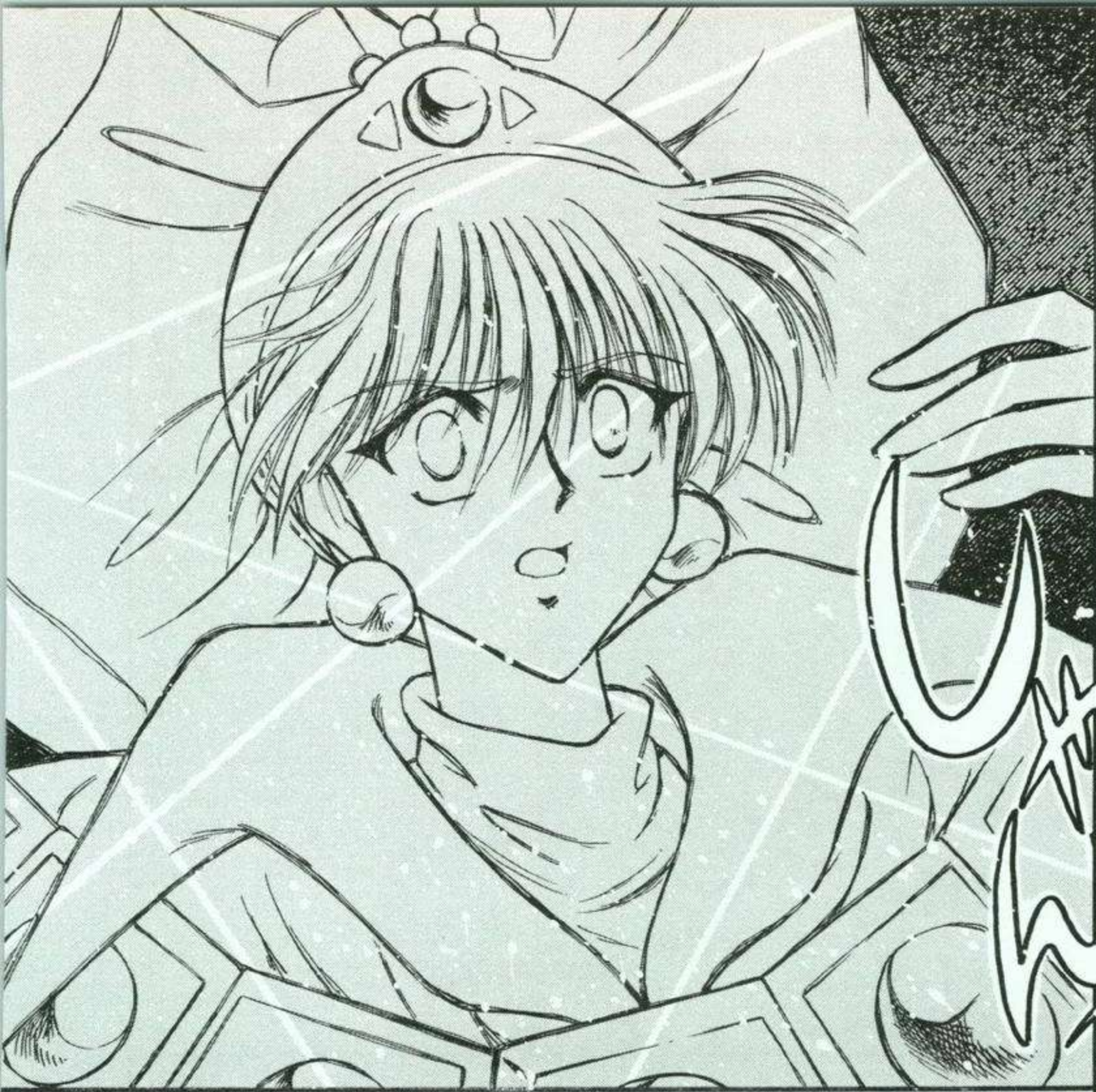
怖くなくなる  
ように  
ウチが  
幻覚魔法  
かけたるわ!



男になりい  
アスコット!



カルディナツ  
やめ……

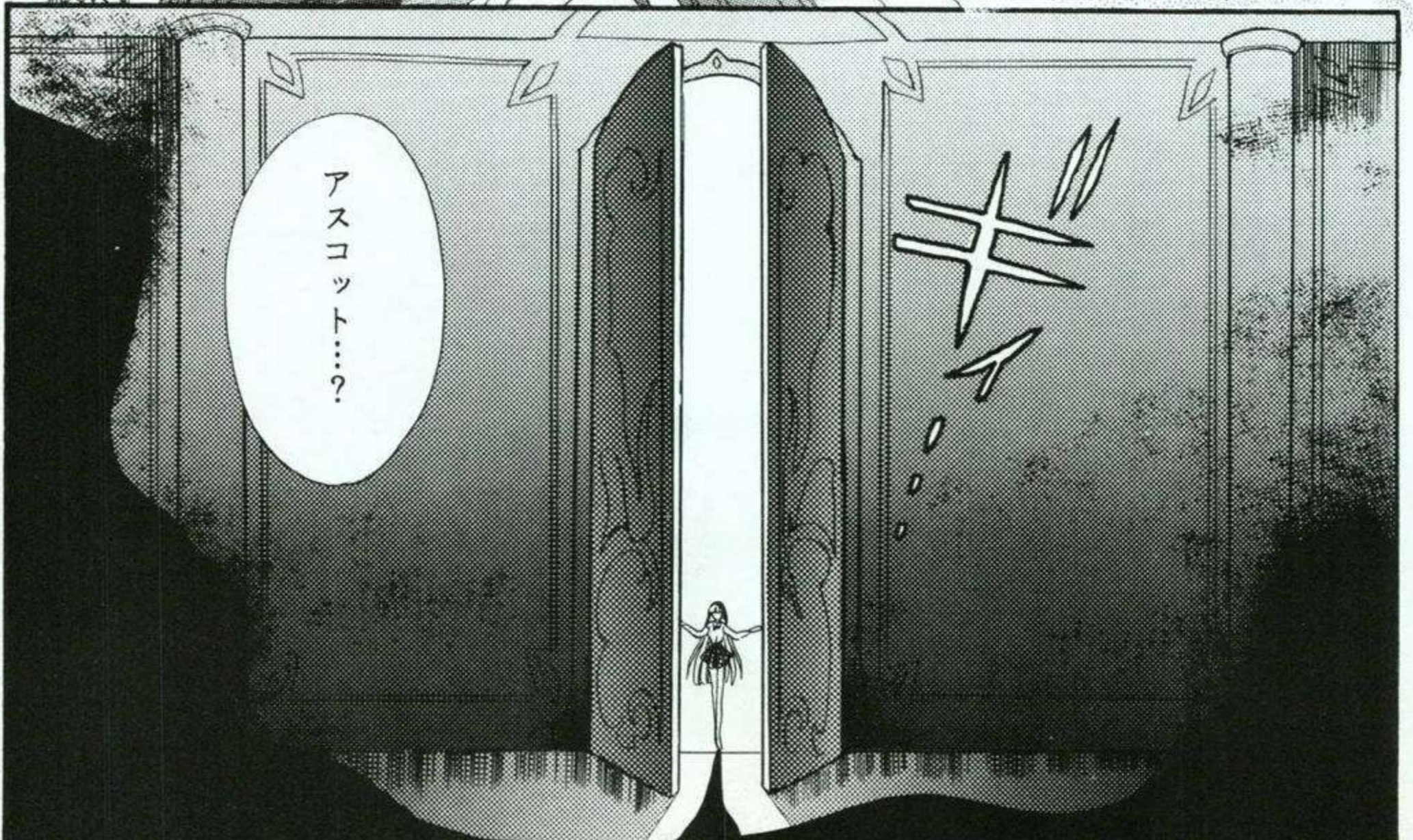


そおら  
一発  
かましたれえ!



この部屋で  
アスコットが  
待ってるの?

そやねん。  
入ったって!





アスコット……  
いないの……？

びっ

よく来て  
くれたね……

海……！

アスコット……？

どうしたの  
海。

青ざめた顔  
しちゃって……

僕の  
友達が  
怖いの……？

う……  
ううん……

暗闇に急に  
現れて見えたから  
ちょっとびっくり  
しただけ……よ。



そうだよね。

海が  
僕の友達を  
怖がる訳  
ないよね。

きやつ...

よーし

バチン!



ぬぬぬぬ

よーし  
マルゲリータ  
ゾリアローラ  
海をこっちに  
連れておいで。



この子達  
マルゲリータと  
ゾリアローラって  
いうの？

な...なかなか  
かわいいじゃない!

うれしいなあ

海もそう思って  
くれる？

ついでに  
僕の悩みを  
聞いてくれると  
もっとうれしいん  
だけど……

ええ

私に出来る事が  
あれば何でも  
相談にのる  
わよ!

うん…

ちよつと  
恥ずかしいけれど  
思いきって  
言うよ……

僕のものに  
なつてよ、  
海!



……って  
言ったら  
海に嫌われるん  
じゃないかと  
思ってた

夜も眠れなく  
なる……って  
いうのが  
僕の悩みさ。

いやあ……



お、また  
始まったの

きやああ  
ああああ！



離してっ  
さわらないでよ

誰かあ！



人を  
呼んだって  
ムダだよ。

むっ  
むっ

この部屋は  
僕と  
カルディナの  
「意志」で  
作り出した  
空間なんだ  
から……。



ふふふっ  
思った通りだ。  
やわらかいなあ  
海の胸。

……それでね、海  
相談なんだけど  
……

僕さ、  
海の事を考えると  
つい毎晩オナニー  
しちゃうんだよね。

ね……僕

どうしたら  
いいかなあ……

ちよっ……

やめて！

アスコット！

一体  
どうしたの？  
アスコット……  
人が変わった  
みたい……

答えて、  
海……

そんな相談  
のれないわよ

何でも相談に  
のってくれるって  
言ったくせに！

ウソつき  
だなあ  
海は……

まゆっ

あ……

痛あいつ

痛いっ

ギリギリ

ギョッ

やめて  
ちぎれちや  
う



やめなさい



あ  
あ  
あ



あんっ



きや

ぽ



ひどいわ  
こんなのって...



私：男の子と  
キスだって  
まだなのよ.....

へえ  
キスしたこと  
ないんだこと



じゃあさ...

コレにキス  
させてあげるよ



ぴゅ

えっ……?  
きゃっ……



きゃあああ

バ……バカねっ  
しまいなさいよ  
そんなものっ



かわいいなあ  
海……



男のコレ  
見たのも初めて?

きゃ



ほら  
くわえてよ

いやあ

いやっ

もう  
しょうがないなあ

僕が口に  
運んであげるよ







はあ

はあ

そろそろ  
出るから  
ね……

全部  
飲まないと  
承知しないよ  
……っ！

出るっ！

んっ！

とろとろ

んっ……

んっ  
んっ……！

んっ

んっ



チュバツ  
チュバツ...

まだ!  
残り汁も  
吸って!



びっはっ

おえっ  
げええっ

ゴホッ

ゴホッ

かはっ



泣いてる顔も  
かわいいよ。



やっぱり口を  
ふさいだのが  
きいたかな?

ずいぶん  
おとなしく  
なったね。



どう?  
おいしかった?

うっ...

うえっ

ゴホッ  
ゴホッ

まあ、  
またすぐに  
悲鳴をあげる  
ことになる  
けどさ！

えっ  
…？

壁が  
動いてる  
…？

もぞ

もぞ

とん！

もぞ  
もぞ

きゃあ  
ああっ！

きゃっ…

きゃー

蟲っ！  
壁から蟲が…

いやああっ！



取って！

アスコット  
気持ち  
悪いわ！



あ、  
紹介するよ。  
この蟲たちは

僕の友達で  
ピーターと  
その仲間たちって  
いうんだ。

MOONK!



ピーター達  
海のこと  
とっても  
気に入ったってさ。  
一緒に遊ぼって  
言ってるよ。



いやっ  
絶対イヤッ！  
私、虫が  
大っ嫌いな  
よお！

海…



今日の海は  
ウソついて  
ばかりだ。  
僕の友達  
「いい子」だって  
前に言って  
くれたのに…。







ええええっ？

海、  
足開いて！



あつあ

待てっ  
ガブリエル

きやつ…  
ズルル



お前は  
ガブリエル

あつ  
いた！



ひっ…

キーン

アッ



蟲たちのことを  
キライだなんて  
言うから  
ガブリエルは

いじめられる  
かと思って  
こんなトコに  
逃げ込んだんじゃ  
ないか！



海が  
悪いんだぞ

見ないでよおっ

ばかっ ばかっ  
アスコットの  
ばかっ

出てこい  
ガブリエル

ぴらっ

きやっ…ダメ  
めくらないでっ

あ…やだ…

中で蟲が  
動いてるっ…

びんびん

あっんっ  
いや…  
どんだん  
入ってくる…

お…お願い  
アスコット  
助けて…  
も、もう  
許して…

私…

ガブリエルに  
謝るわ…

だから…

だから  
蟲を…!!

はあ  
はあ

蟲を私の中から  
出して…

はっ

はっ

んふっ

ひっ

しょうがないなあ

出してやるわ!

ズッ

いっ



ほらっ  
出ておいで  
ガブリエル

怖くなんか  
ないから……  
さあ！

ひっ  
痛

痛いっ



アスコット、  
痛あいつ！

ぐりぐり  
ちろ  
ちろ

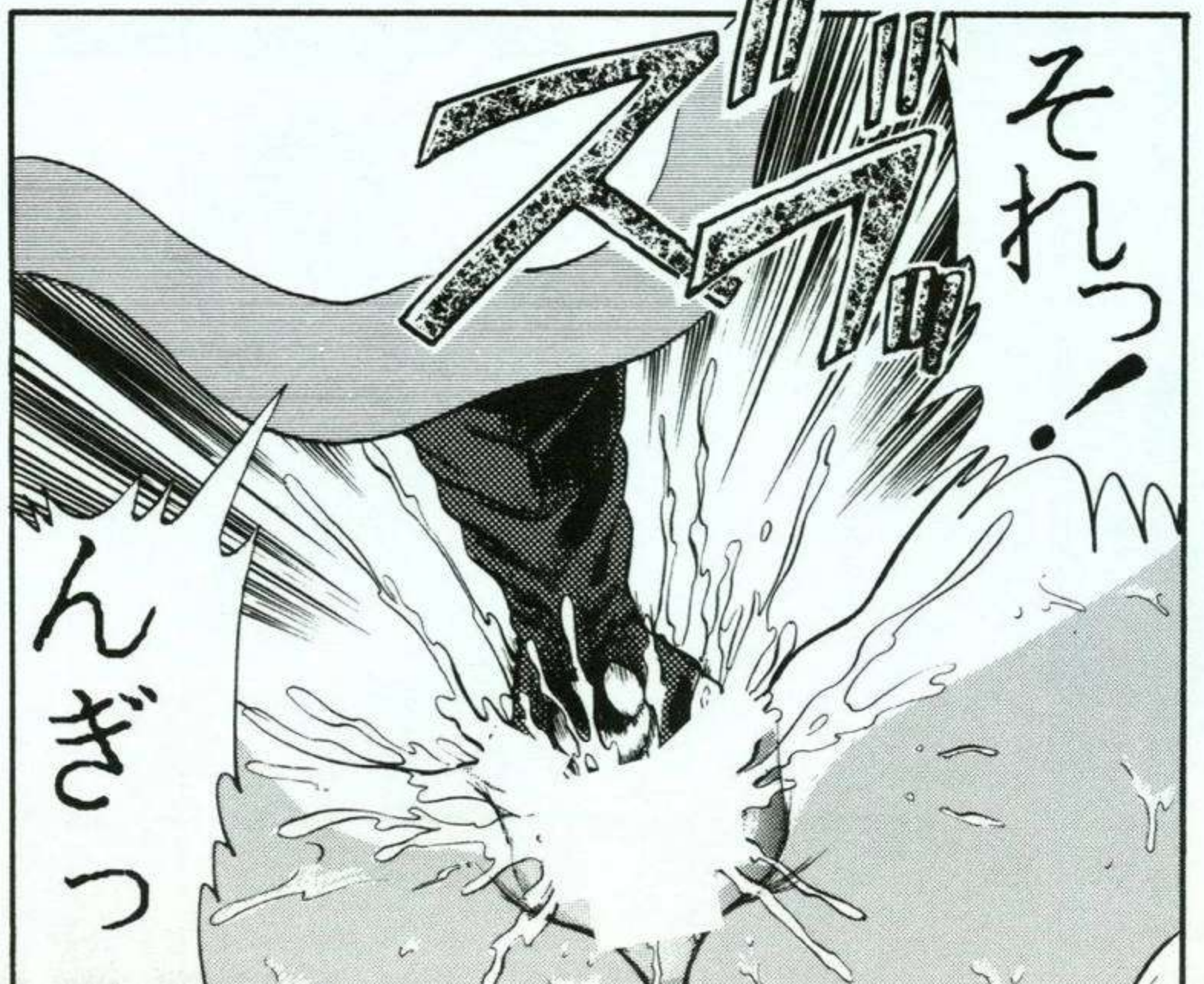
ちろ  
ちろ



だめだ……  
奥の方にな  
入っちゃっ  
て……

よーし……

おは……



それっ！

んぎんぎん



ひっ

ひぎんぎん







はあ

はあ

びんびん



あはああつ...



じゅびん

ちゅるるるる



やっとなつかまえたぞガブリエル.....

光る...



海もね、お前達のことキライだなんて言って

ゴメンねって謝ってるから.....



窒息しなかった？

せまい所で苦しかったろう？



でももうおびえなくてもいいよ.....



海は  
僕のこと……

嫌い……？



海……



いいえ……

嫌いじゃ  
ないわ……。

じゃあ…

僕のものに  
なってくれる？

いいえ。

私は誰の  
ものでも  
ないわ…

私は…

私のものよ…



海は  
レフのこと  
好き？



海は…

海は…



……好きよ。



好きなん  
だろ？



わ…

分からないわ。

じゃあ  
やっぱり  
キライなんだね!

僕のこと  
キライなんだね!



ち…違うわ。  
アスコットの  
事も  
好きよ。

アスコットは  
いい子よ。  
本当は  
いい子よ。  
だから  
好きよ!



いやだ!  
そんなんじ  
ないんだ!  
僕は  
海が欲しい!

海の  
ツッキ!

僕のことなんて  
蟲みたいに  
キライなんだろ、  
本当は!

きゃあつ





アスコット……!

しゅわん

海を  
僕の色に  
染めて  
あげる。

他のヤツに  
染まる前に  
……

僕の  
コレでね……!

しゅわん  
しゅわん

しゅわん

しゅわん  
しゅわん

海を僕ので

と...

汚してあげるよ...



そらっ!

くっ

ぐちやああ

くはあああつ







はっ  
はっ  
すごいよ  
海：  
すごいよ  
すごくいいよ……

ぐちやう  
ぐちやう  
ぐちやう  
うっ

あん  
ふうっ……  
キユウキユウに  
キツくって……



液が  
ねっとり  
からみついて  
……  
想像以上だよ  
……！

あんっ  
はっ  
あっ  
んうう



いい声だね  
海。

ああっん  
んふっ  
くっ  
ひよっとして  
感じちやって  
る？

あんんっ  
はあ  
はあ  
はあ



ね、  
感じてる  
だろ？



うっ  
もうダメだ……

中に  
出すよ……！



あはあっ

くううっ!  
びんびん

あっあっ...

びんびん

びんびん



ごめん...  
ちよっと  
早かった  
かな...

でも大丈夫...  
何度も海を犯せるくらい  
たまってからね。

ほら  
また入れるよ...!

はあ  
はあ

ズズ...



ふふ…

5回も  
イツちやった  
よ…

はっ  
ズリユッ

ん

ズリユッ

これだけ  
たっぷり  
注ぎ込んでおけば

例え海が  
僕を嫌っても  
海の中の僕の色は  
消えないからね…

あっ

ふっ

ほら…  
海

みんなが  
見てるよ…  
僕たちの  
淫らな姿をさ  
…  
…  
…

はっ

はっ



ガディオス  
マリウス  
ナメヌーバ

おいで。  
一緒に遊ぼう。

海の体に  
あいさつ  
してごらん。



アスコット  
それだけは  
やめて!

お願い!



おいで!  
早く!



いやっ!

いやああっ



もちろん  
他の子達にも  
順番に海と  
遊ばせて  
あげるよ。



よーし、来い  
ナメヌーバ

ああっ

グッ  
キッ

ああっ  
ああっ

ひああああっ

ぬぬぬ

ほら海、

ガディオスの

チ●ポ

しゃぶって！

グッ  
グッ

カッ  
ぽっ

んむう

マリウスは  
海をあそこを  
可愛がって！

ぬぬぬ

ぬる

ぬるぬる

んぐう

キレイだよ  
……..  
海……..



僕は  
うしろの方を  
もらうよ。



さあ  
行くよ。



んぐううう







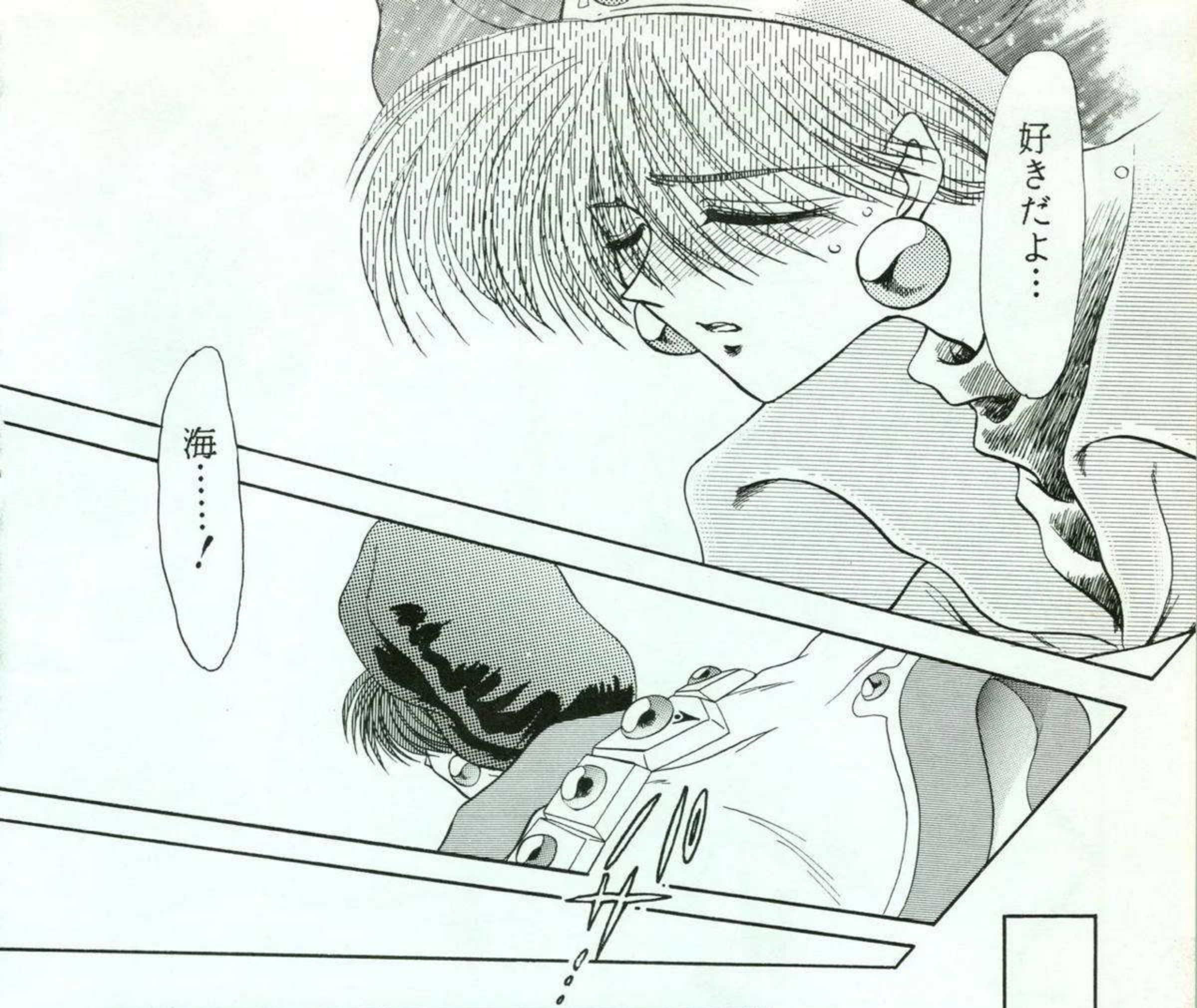




くはああ！

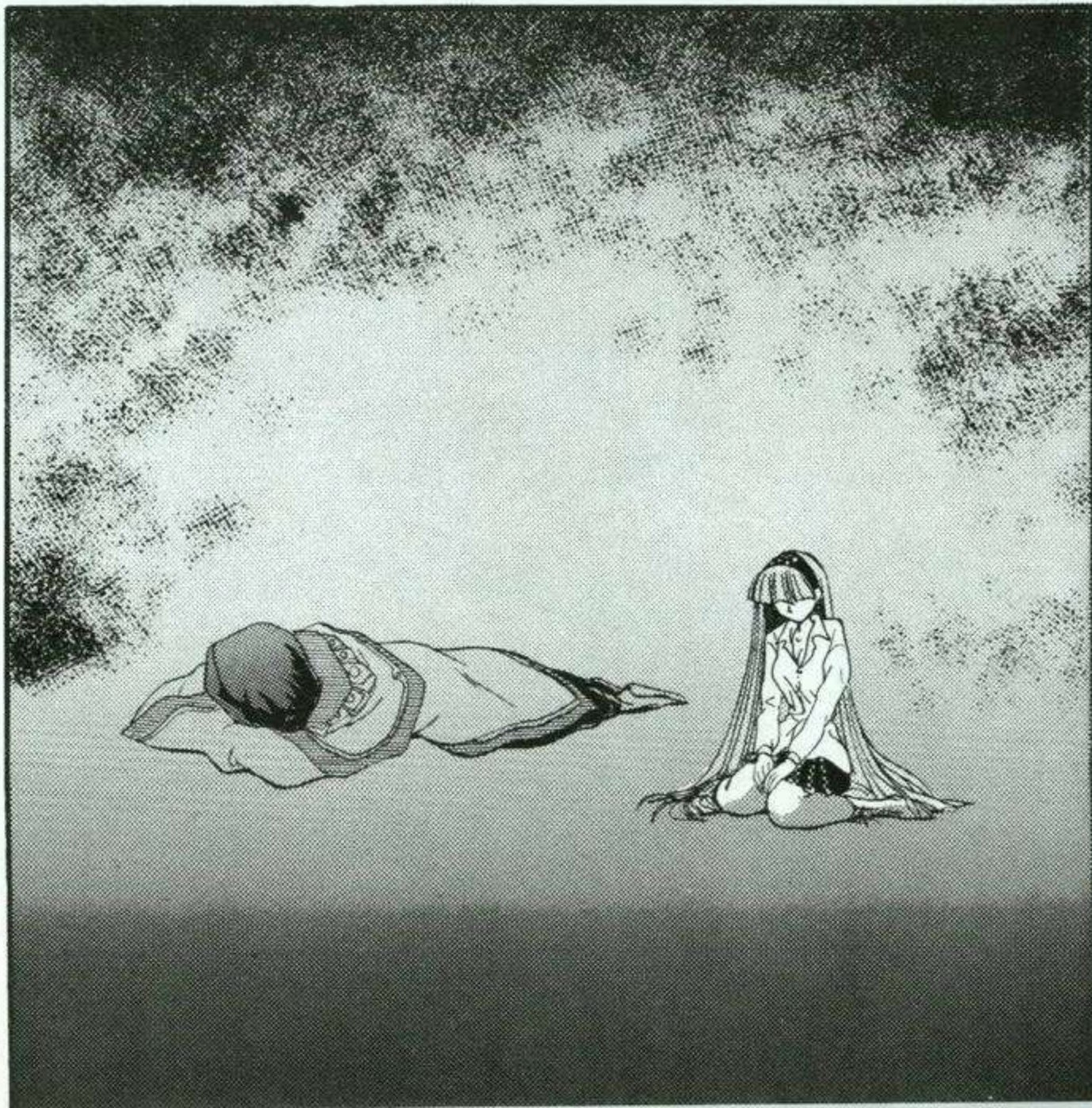
びんびん

びんびん



海...

好きだよ...





どうやー  
二人とも!  
気持ち  
ヨカったかー?



おつかれ  
さーん!



.....  
れ?



カルディナ:  
あなた:  
アスコットに  
何をしたの?



ひどいわ…



ひどい……!



なんか  
アブノーマルな  
事しよったん  
か……?!

ア…  
アスコット…

アスコットは  
あんな事する子  
じゃないわ!

ポカッ  
ポカッ



なんて事  
してくれた  
のよ!

ちよ…  
ちよつと待って。  
そらウチ  
幻惑魔法かけた  
けど……



でもあれは  
心の奥に  
しまってる  
気持ちを行動に  
移せる「勇気」を  
持たす程度の  
魔法やで。

海が好きなん  
迷惑やと思っ  
ずつと隠して  
アスコットが  
可哀相でなあ

ちよつと本気  
出させたら  
思てん。



ちがうわ!  
あんなの  
アスコットじゃ  
ない!

アスコットは  
人の痛みの分かる  
いい子よ!



そやけど…  
もしアスコットが  
変な事したん  
やったら…

それは  
アスコットの  
本心やで。



それなのに  
あんな事  
考える筈も  
ないでしょう？

みんな  
カルディナが  
仕向けたのよ！  
そうでしょ！

カルディナの  
バカッ  
バカアツ！

待って……  
海………！



ア……  
アスコット……



カルディナの  
言う通り  
なんだ  
海………

だから……  
カルディナを  
責めないで……

あれはね……  
僕が  
心の底で  
望んだ事  
なんだ………



う……  
うそよ……。

僕はね  
海を好きに  
なる度  
苦しかった……

少しでも  
海のそばにいたい、  
役に立ちたい  
……って  
気持ちと

それが海にとって  
迷惑なんじゃないか、  
嫌われるんじゃないか  
……って  
気持ち……

でも  
その内  
何をやっても  
海に  
嫌われてる  
気がして……

そう思ったら  
いっその事  
嫌われて  
しまいたって  
考え始めて……

毎晩  
考えたよ。

どうやったら  
海に嫌われる  
だろうって……

アスコット  
……

海の嫌がること  
いっばいして……  
海が「嫌」って  
言っても  
聞かないで  
僕のものにする  
方法をさ……



でも僕は  
その方法を  
試すことさえ  
出来なかったんだ。

海に……

嫌われたく  
ないからさ……!

アスコット  
……

そんな風に  
考えとったん  
か……。

あんた……

だからね……海  
僕は「いい子」  
なんかじゃ  
ないんだ。

こんなこと  
ばっかり考えて  
……  
そうだろ？

海が  
僕のことを  
「いい子」だって  
言ってくれる  
度に

僕はいつも  
うしろめた  
かったよ……

それに……

正直言っ  
て  
腹が立  
ったんだ  
……

どうして  
僕のこと  
分かって  
くれない  
んだろう  
ってね!

今日の事は  
僕の本当の  
「願い」さ……。

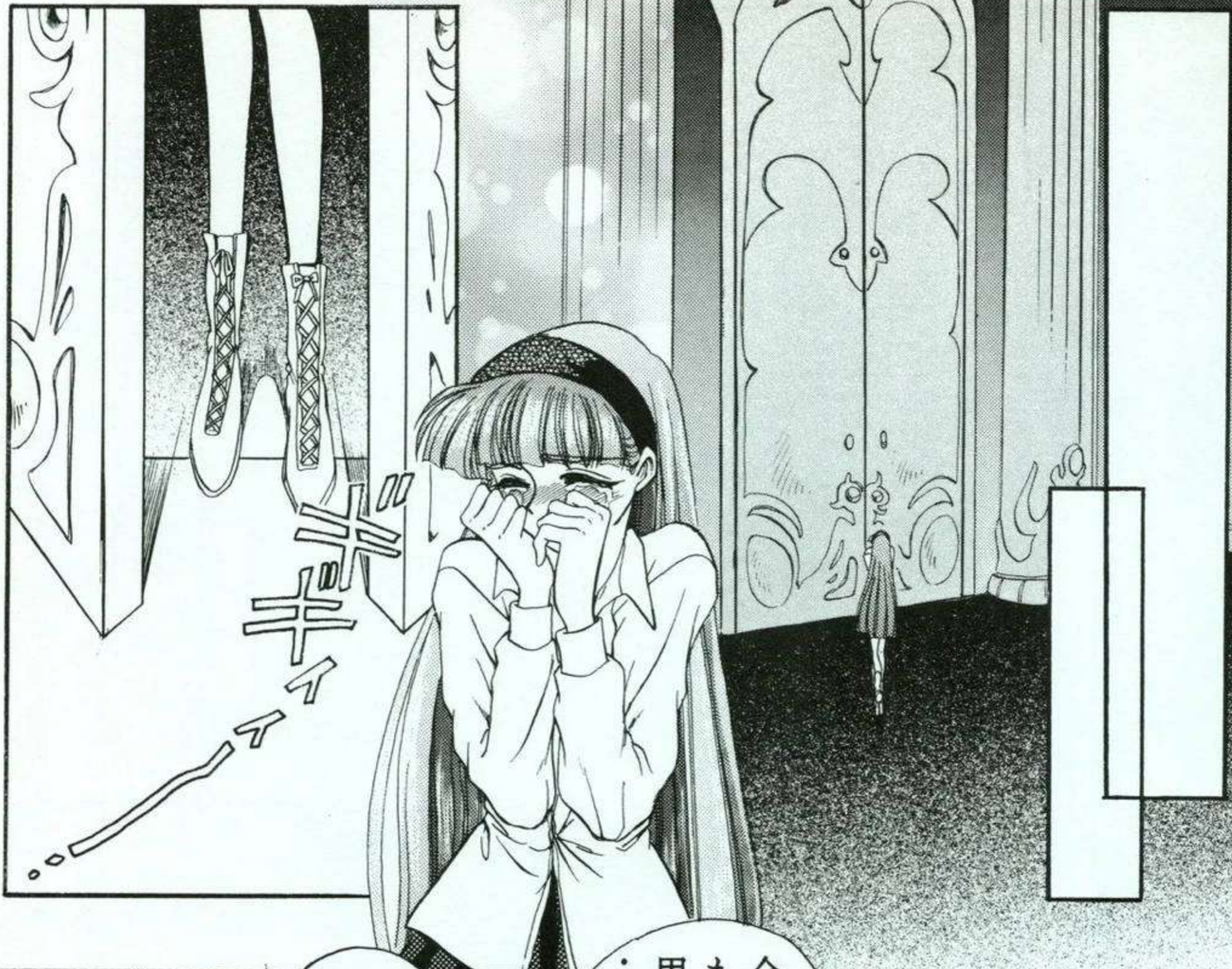
カルディナの魔法は  
きっかけにすぎない……。

海……

今まで  
信じてくれてた  
のに……

ごめんね。





クレフ…

あのね…

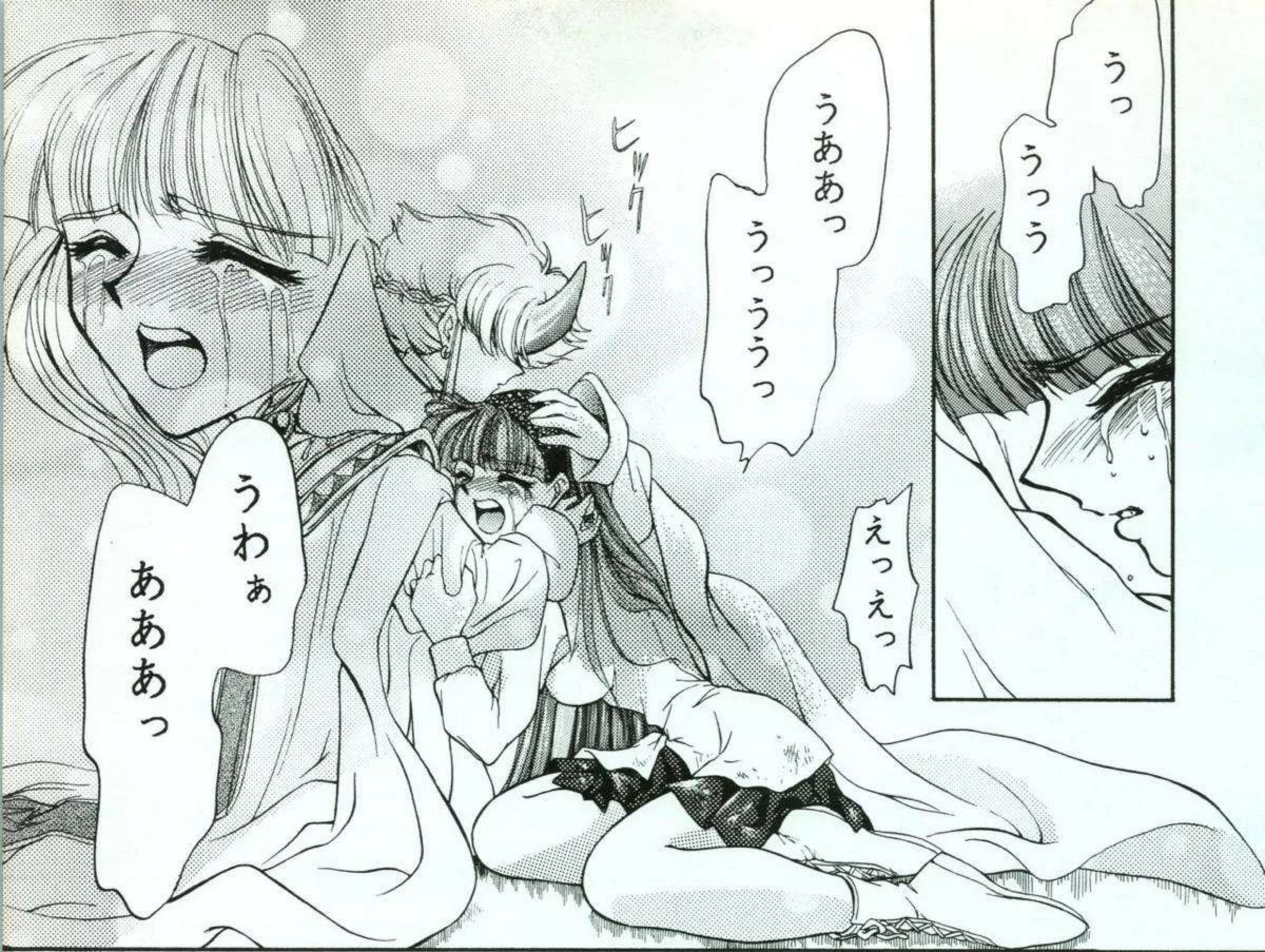
「仲間」だって  
思ってた女の子が  
……

「友達」だって  
思ってた子が…

たった一度で  
いいから  
「抱きしめて」  
……って  
言ったら…

抱きしめて  
くれる？





なあ  
ちよつと  
待ちいな  
アスコット!

セフィーロから  
出て行く  
言うたかて  
あんたみたいな  
子供ひとり  
どうやって暮らして  
いくねん

それに  
セフィーロ守らな  
あかん、

あんたの  
召喚士の仕事は  
どないするんや!



だって…

だって…

僕が  
セフィローに  
いたら…

海が  
傷が  
いつか  
あじや  
なかく  
あじや  
!

きつと…  
きつと…  
僕の顔を見る度に  
海は今日の事を  
思い出して  
悲しい気持ちに  
なるよ…

だから…  
二度と  
会わないように  
夜が明ける前に  
ここから  
出て行くよ…

アスコットが  
そんなに  
思いつめてる  
とは  
思わへん  
かってん…  
そんなに  
複雑な心  
持つてるやなんて  
…



ごめんな

アスコット

ウチみたい  
単純と  
違たんや  
なあ……

さあ  
行こう。

お前達が  
いるから  
僕は  
ひとりぼ  
っちじゃ  
ないよ……!

でも……

もう  
海に  
会え  
ない  
んだ  
ね……

ガ  
ル  
ル

アスコット  
……

ウチも  
ついて……

待って……!

海……!





海、  
みんなウチが  
悪いねん  
せやから  
アスコットを…

大丈夫よ  
………

私……

アスコットを  
許すわ………。



だ…  
だめだよ  
………

僕…海に  
ひどい事…  
ひ…ひどい事

アスコットはね、  
人の気持ち  
自分ひとり  
考えすぎるの…

人を傷つけたんじゃ  
ないかと思って  
傷ついて、  
結局人を傷つけちゃう  
のよ………。

ぎゅ  
ぎゅ  
っ





私……  
アスコットが  
あんなに悩んで  
苦しんでたなんて……

知らなかったわ。



自分を  
いじめたり  
しちゃ  
ダメよ……

えっ……



……っていう  
自分を  
いじめるのと  
同じよ。

好きな人を  
いじめるのは  
……  
『その人を好き』



ち……  
違うよ……  
僕が  
いじめたのは  
海だ……  
僕が海を……

お願い  
アスコット……  
もっと自分を  
好きになって……



ほら：今日何度も私の事ウソツキって言ったでしょ。けっこうシヨツクだったわよ。

私アスコトのホドに嫌いだなんて思ってたから



ごめん...

もっと自分を信じられるようにになりなさいよ...! そうすれば私の事もきつと信じられるから!



確かに人を好きになるって辛いよ。人の心って自分の思い通りにはならないもの...

...でも

でも...もう女の子の体...

あんな風に扱っちゃダメだから...ね!



ごめんね…海。  
泣いっばい  
ごめんね…。



あなたも  
泣いてばい  
から…。

一緒よ。



ありがとう

海…





END



**【み】**なさま、いかがでしたか？ 私達は 頑張りました。

前回の『アスコットマジック』では反省点が多く、今回は発行を延ばしてでも持てる力を出し切ろう、ということでおぼりましたお！！

**【特】**にアスコットは私達のお・気・に・入・り・キ・ラ・な・の・で、彼を色っぽく描けたらこのマンガは成功！…なんて思っていたのですが、海ちゃんにエッチしてる際、  
「ちよと早くたかなあ ハハハでも大丈夫…」と びっくりなしにしゃべりまくる彼は作中ギャグであわね… おまけにマリリンが「海ちゃんが巨大シタゲに襲われている」なんて言うものだから、「巨人シタゲルゲが海を襲う！」…なんてバロム1のタイトルみたいなものが 頭をよぎり、やはり大爆笑してしま、たのでした…。

**【笑】**笑えば、昨日レアスのテレビ放送で、アスコットが公衆の面前で、しかも敵が攻撃してくるかも…という緊迫した状況で「海が好きだ！」と告白してしまう場面があり、あまりのアスコットらしさに笑いすぎて涙が…アスコットみたいな「会話」の出来ない子は言うタイミングでやつを考えないので周囲をこおりつかせることに…。更に海ちゃんにボケた返事をもらい「ワザン」とするアスコット少年、君の幸せはどこに…というカンジであわね。周囲にいたはずなのに

**【思】**えば、この本のマンガ『Marine Color』の企画も、どう考えても海ちゃんとくっつけようもないアスコット少年が不憫で「私達の守る海ちゃんと一緒にやっせてあげよう！」という乳母心からでしたわ。

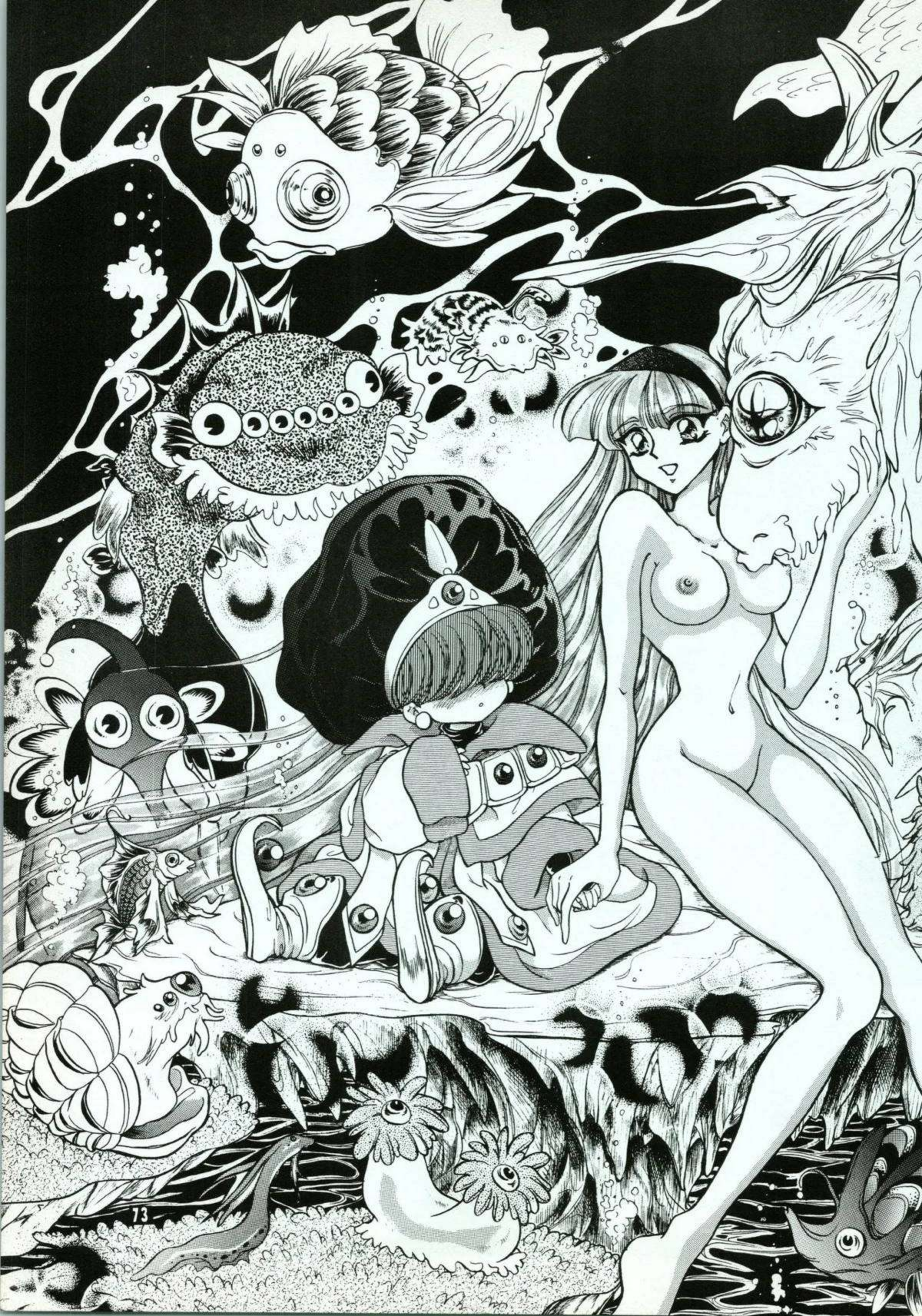
しかし、描いてみると更に不憫な結果になってしまったのはやはりアスコットだからとありましょ。よくごらん下さい。アスコットときたら、あれだけ余計なところにはキスしまくっているのに肝心のマウスとマウスのキスはしていないのです。「キスは両思いじゃないとしゃべれない」とも思っているのでしょうか… ほんと不憫な…。

**【図】**柵から、このマンガで海ちゃんが「アスコットを許す」と言っていますが、許したのは「アスコットの心」であって、彼の行為（いかにもものは許していません。女の口はそんなに便利には出来ていないので注意させて下さいネ。」「どうせ僕なんて…」という自意識からレアに走った彼を救いたいと思いつきまて焼いて彼とコミュニケーションを取ろうとする海ちゃんですが、やはりオトコとしてのアスコットをなめてくるかも…。中々コソのまんまでそのおーが

**【口】**は、今回はこの辺で…次回は冬コミかお正月あたりに光×海×風のエンターテインメントを予定しております（ちよと軽めの本を…）お楽しみにネ。

今回の本が好評でしたら またアスコット×海もやりたいと思いますので、良かったら感想など下さいませ。 ……では。

たまご & マリリン







## A. SHELLFISH

サークル♥豪徳寺コンツェルン

発行日♥1995年11月3日 (第3刷 1996年3月10日)

印刷♥表紙/木内印刷さま 本文/栄光印刷さま

発行人♥パッコンたまご & マリリンあなか

着稿♥1995年8月20日～

この本からの無断転載・コピー等を禁じます。

また、18才未満の方のご購読はご遠慮くださいね。

♥ 連絡先 ♥

〒616  
京都市右京区常盤郵便局止め  
栗田 葉子

お問い合わせ等は80円切手を貼った返信用封筒同封で  
お願い致します。



PRESENTED BY

豪徳寺コンツェルン